

○ ISO14001再認証審査は無事終了

早いもので、2000年9月に認証取得してから9年が経過しました。ISO14001の認証登録維持のためには、毎年のサーベランス審査(旧定期審査)と3年毎の再認証審査(旧更新審査)が義務づけられています。という訳で、7月23日から24日にかけて、審査登録機関(JET:電気安全環境研究所)による3回目の再認証審査が実施され、事務所内各部署、第一工場、第二工場、阿久和工場の全社で受審しました。審査では、書類審査の他に現場確認もありましたが、特に工場現場での運用活動が良好であり、監理状況も手順どおり実施されているとの評価を受けました。事務所、現場で対応された方も審査員の質問には的確に回答を返されていたと思います。とにかく、皆様、お疲れさまでした。お陰様で、重大な不適合はなく、無事に審査を終えることができました。審査へのご協力に感謝申し上げますとともに、今後とも継続して環境配慮の取組みをされますよう、併せてお願いいたします。



○ これからの環境マネジメントシステム

こう書いていると、「システムは問題なく運用されているじゃないか!」と思えますが、「重大な不適合」こそなかったものの、「軽微な不適合」は2件ありました。また、システムをより良くする為に何点かの改善・推奨事項がありました。最近、特に今年の実審結果、審査は経営や業績向上に役立つ環境マネジメントシステムを目指す傾向になってきていると感じました。(紙、ゴミ、電気は卒業ということなのでしょうが、だからといってなおざりにすべきことではありません) そのひとつが、毎月実施されている営業会議と、マネジメントレビューのリンクという審査員の推奨です。当社の環境マニュアルでは

「社長は環境マネジメントシステムが継続的に適切かつ効果的に運用され、周囲の環境の変化に適合しているかを確認するために、マネジメントレビューを実施する。」

としています。審査員の意図は、「環境マネジメントシステムは環境を継続的に改善することを目的にしているが、活動自体が会社を良くするもの、業績が上がらなければ意味がない。期末に一度のマネジメントレビューで確認するだけでなく、毎月の進捗会議の中で確認し、活動の一体化を図ったら如何ですか」ということです。

という訳で、環境管理室も8月から営業会議へ参加し活動の一体化を検討していくことになりました。

とはいえ、環境マネジメントシステムは規格要求事項に従って構築していますので、マネジメントレビューの議題、開催サイクル、手順などの見直し結果や営業会議との整合が規格要求事項から逸脱しないことが前提です。いろいろと相談しながら進めていかなければなりません。ご協力宜しくお願いします。



○ 温室効果ガス25%削減について

京都議定書後の2013年以降の地球温暖化対策の国際的枠組み構築を目指し、国連気候変動サミットが9月22日ニューヨークの国連本部で開幕しました。鳩山首相は演説のなかで、「温室効果ガスを20年までに90年比で25%削減する」と表明し、国内排出量取引制度や地球温暖化対策税の検討を含む「あらゆる政策の総動員」によって実現を目指すとして「鳩山イニシアチブ」として日本の主導的役割をアピールしました。日本だけが高い目標を設定しても地球規模の温暖化防止が実現できないことは確かです。講演で鳩山首相は、日本の国際社会への約束の前提として、「すべての主要国の参加による意欲的な目標の合意」を挙げています。世界最大の排出国である米国と中国はもちろん、インド、ブラジルなどの新興国も削減しない限り、気候の安定化は望めません。鳩山首相が「25%減」を明言したことにより、排出権取引、環境税導入などが現実味をおびることになりました。経済界からは国際競争力が低下しかねないと危機感が出ており、産業によっては生産拠点を海外に移さざるをえず空洞化が進み失業率が増えるといった指摘もあります。また、光熱費高などで家計負担が増すなど国民の負担も大きくなり、覚悟・痛みが必要になるとの声もあります。一方、高速道路の無料化による物流コストの削減、地域・観光産業の活性化などのメリットの反面、高速道路の交通量が増え、渋滞や事故が発生しやすくなったり、ガソリンの消費量が増えることに伴いCO2排出量も増えるのでは？温室効果ガス25%削減とは矛盾するのではという指摘に対しては、国交省はシミュレーションでは広域幹線道路（国道等の一般道路）の渋滞が解消するのでトータル的には削減に寄与するとしています。現状、種々の要因が複雑に絡み合う状況ではシミュレーションが適切なものかどうかの判断は出来ないのではないかと思います。進め方によっては私たちの暮らしにも多大の影響を与えることは確かであり、鳩山政権は、25%削減が国民生活や産業界にどのような影響を及ぼすのかを丁寧に説明し、国民の不安を解消しなければならないと思います。チーム・マイナス6%の目標値もUPする必要が出てくるかも？



○ 防災月間によせて

9月は防災月間でした。事務所では9月7日の朝礼で総務課から消火器の位置確認などの注意がありました。社長から火事の原因で最も多いのはタバコの火の不始末であり喫煙者は特に注意するようにとの話がありました。その話を聞いて思い出したのですが、つい先日、筆者が住んでいる団地の目と鼻の先のお宅で火事が発生しました。そのお宅は14階建ての6階部分で火元のお宅は全焼、階下の数軒の部屋は水浸し、階上の部屋の外壁はススで真っ黒となり、周囲25軒ほどが煙害で一時住めなくなったり、衣類に臭いが付着して着用できなくなったそうです。中には2~3日前に数百万かけてリフォームを完了したばかりのお宅もあった由。朝9時過ぎのことで、原因は5歳の子供がライターをいたずらしてソファのカバーに火が付き、アツという間に燃え広がったとのことでした。喫煙者の方は、タバコの火の不始末だけでなく小さな子供の手の届くところにライターなどを置かないよう注意しましょう。

